



「若どり」

第5号

◎ からだをつくる ◎ 心をみがく ◎ わざを練る

小さな学校の大きな成果

校長 竹之内 勝

秋の気配を感じる季節となりました。中庭の彼岸花が満開に、職員玄関右側のもみが色付き始めました。

昨今の災害に際し、被災された皆様に、心からの哀悼とお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い平穏な日常が戻ることを祈念しています。本校の皆様の中にも、ご親族やご友人など、被災された方がいらっしゃると思います。不安・心配等でお悩みの際は、スクールカウンセラーをはじめとする専門家等が本校にはいますので、遠慮なくご相談ください。

さて、夏休みが終わり、1ヶ月が過ぎようとしています。生徒たちは、水泳教室、総体陸上競技大会への練習、部活動、ボランティア活動、学習教室など、夏休みに蓄えた力を大いに発揮しています。

「努力は足し算、協力はかけ算」という言葉があります。「努力」はどんどん増えていって「+（プラス）」になります。無駄な努力など一つもありません。すぐに結果として現れなくとも、いつか必ず現れるときが来ます。成果となって重なっているのです。そして、「協力」は個人の努力の掛け合わせです。一人でも協力しなければ、「人数×0=0（人数かけるゼロはゼロ）」になりますが、全員が協力すれば無限の力となり、個人の力をも引き上げます。例えば、6月から8月上旬にかけて行われた3年生にとって最後となった夏大会等がその成果です。2年生に代替わりとなった秋大会等に、その成果は更に重ねられています。サッカー日本代表の長友選手は「努力を続ける才能は誰にも負けたくない。」と様々な場面で言っています。けが

や病気でサッカーができないときでも、家族や仲間の支えで努力を続けられたのだそうです。周囲の支えがかけ算になったのだと思います。また、長友選手は、今でも「まだ結果は出ていない。」とも言っています。

一人ひとりが努力し、協力し合って（支え合って）かけ算にする。そして、個人の力を更に伸ばす。秋には、小さな学校の大きな成果を見ていただける機会がたくさんあります。ぜひご来校いただき、「FOR 2050」、2050年に向けて、八中生に励ましの声掛けをお願いします。

全校朝礼における校長講話から

7月2日（月）

「文武両道」という言葉があります。学習と運動の両面に優秀であることを意味します。学級目標に、この言葉を入れているクラスもありますね。学習と運動を両立しようという目標です。3年生の進路に向けた面接練習などでも、「高校では、文武両道を目指します。」という言葉がよく使われます。「文武両道」を目標にしたり、目指したりするということは、『文武両道』は困難である。」ということなのでしょう。

3年生の国語の教科書に、井上ひさしさんの「握手」という小説が載っています。その中に「困難は分割せよ」というセリフが出てきます。私は、この「分割」がキーワードだと思います。「両道」や「両立」といっても、一度にたくさんのことはできません。ポイントは「分割」です。どんなにつらくても、「1日にこれだけの学習をする。」と範囲を決めたら、必ず、それを行い

決めた範囲を必ずやり続けるのです。1・2年生や、まだ部活動での大会等がある3年生であれば、部活動等が運動や文化活動の分割された時間、そして、学習に分割した時間で、決めた範囲を学習します。既に、部活動での大会等がない3年生であれば、学習に分割した時間で、決めた範囲を学習し、そして、運動等も分割して取り入れましょう。体力と学力は、相関関係にあるというデータがあります。体力のある人は学力もあるということです。

今日は、「文武両道」を「分割」というキーワードでお話しました。部活動と学習、運動と学習を「分割」して両立させ、自己実現に向けて努力を続けていきましょう。特に、教科書を読んでくるだけで構いませんので、予習をして授業に臨みましょう。予習、すなわち準備こそ、「FOR 2050」、2050年に向けた自己実現につながっていきます。

【意見交流テーマ】

「人の心や体を傷付ける人も、みんな違ってみんないいの『みんな』に入るのか。」

9月3日(月)

今日は、「リーダーシップ」について話します。「リーダーシップ」というと、「みんなをまとめる力がある人」というイメージが強いと思います。もちろん、そのとおりです。

しかし今日は、もう一つの「リーダーシップ」、自分自身の自分自身による自分自身のための「セルフリーダーシップ」についてです。「前向きによい方向へと、自分自身をコントロールする力がある人」というイメージです。

前期後半のスタートは、10日後に控える期末考査です。その後、学校説明会や生徒会役員選挙、オープンキャンパス、総体陸上競技大会を終えると、後期前半のスタートとして、いよいよ一大行事の文化発表会となります。様々な場面で、セルフリーダーシップを発揮してほしいと願っています。その一人ひとりのセルフリーダーシップの重なりが大きな成果となり、一人では身に付けることができない大きな力です。はじめは少ない範囲で構いません。となって、一人ひとりに身に付いていくのです。

自分自身の力不足や人間関係に悩むことがあるかもしれません。そのようなときこそ、大きく成長できるチャンスとして捉え、「セルフリーダーシップ」を発揮し、先生方の力も借りながら、「FOR 2050」、2050年に向けて力を付けていってほしいと願っています。

【意見交流テーマ】

「なぜ、夏休みがあるのか。なぜ、そう思うのか。そして、どのように過ごしたか。」

夏の地域ボランティア活動

夏の地域行事に今年も多くのボランティア生徒が活躍してくれました。

今年も夏を迎えていくつかの地域行事で八中生によるお手伝いの依頼が入りました。生徒会本部の声かけで「ぼくがやります!」「私がやります!」と多くの生徒が気持ち良く名乗り出てくれました。先ずは7月21日(土)の鷺宮児童館での夏まつりの行事のお手伝いに八中生5名が加わり、幼児たちが楽しむゲームの下準備や、ゲームの際の補助をさ



鷺宮児童館夏サマボランティアの様子

せてもらいました。参加した生徒たちは児童館で職場体験をさせていただいており、そのお礼と感謝の気持ちを込めて取り組んでくれました。

続いて8月4日（土）には恒例の鷺宮小学校での盆踊り大会でのお手伝い。吹奏楽部は例年の調子で盆踊りが始まる前の柿落としでやぐらの前で演奏をさせていただきました。1週間前にある都立家政の阿波踊りでの柿落としの演奏が豪雨で中止になったため、少し気合の入った演奏となりました。一方、「社会を明るくする運動」の啓発活動として、



盆踊り大会前の八中吹奏楽演奏

会場に入場してこられる方々に向けてティッシュ配りなどをやりました。肩から襷をかけた八中生たちの「よろしくお願ひします。」の音が響いていました。

また会場に連なっているテントの中の各種の出店では、オレンジ色のボランティアシャツを着た八中生が飲み物を売ったり、ソース煎餅を作ったりなど役割分担よろしく、元気よく動いている様子がありました。楽しそうに、澁刺として地域の役に立っている姿はとても誇らしいものでした。



「社明運動」の啓発活動



各種出店で活躍している様子（左、右）

科学コンテスト参加

右：コンテストの様子

8月26日（日）に都立立川国際中等教育学校で科学コンテストが実施されました。2年生の3人が参加しました。都内の私立中も含めた学校が集まった中、中位に入り込み健闘してくれました。



セーフティ教室

SNSを正しく使うコツ・・・

普段の人とのコミュニケーションを
うまくとるときのが基本でした。



キャッチボールの実演をする生徒



9月15日(土)に株式会社LINEから講師をお招きして、セーフティ教室を実施しました。講師と生徒との和やかな会話が弾みながら、SNSの正しい使い方について考えを深めていきました。互いにボールを受け取る側の立場になって投げ合えばキャッチボールがうまく続くもの。言葉のキャッチボールであるコミュニケーションも同じ。SNSも同じくらい慎重であれば大きな失敗は避けられそうです。

部活動表彰

敬称略

- 吹奏楽部 東京都吹奏楽コンクール 銅賞
- ソフトテニス部 中野区中学校秋季新人大会 女子団体 第3位
- 卓球部 中野区中学校秋季新人大会
女子シングルス第3位
- 剣道 中野区中学校秋季剣道大会
個人戦2年女子の部 第3位
女子団体戦(南中野中との合同チーム) 準優勝
- 野球部 中野区中学校秋季野球大会(緑野中との合同チーム) 第3位

10月 予定

- 10月 5日(金) 前期終業式
- 10月 6日(土) 理科研究発表会 1:15-
明大中野キャンパス
- 10月 9日(火) 後期始業式
- 10月17日(水) 文化発表会
ルネこだいら
10:00-意見発表会
13:00-合唱コンクール

- 10月23日(火) 第2回進路説明会
- 10月27日(日) あいあいフェスティバル
(鷺宮区民センター)
作品展出品
吹奏楽出張演奏
(鷺宮小学校)
ボランティア活動
- 10月25日(木)～10月31日(水)
3年進路面談